

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第11号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第11号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下URL）にも随時公開しています
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html>

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R3 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R3 (hr)	平年比 (%)
7月	1	25.4	27.4	2.0	29.2	31.3	2.1	22.4	24.7	2.3	90.3	40.5	45	16.3	14.2	87
	2	26.1	27.3	1.2	30.1	30.0	-0.1	23.0	25.6	2.6	83.2	49.0	59	20.3	2.9	14
	3	26.7	27.5	0.8	30.9	32.2	1.3	23.5	24.4	0.9	61.9	12.0	19	24.2	31.7	131
	4	27.3	27.6	0.3	31.8	33.1	1.3	23.9	23.8	-0.1	43.1	6.0	14	28.0	31.7	113
	5	27.7			32.5			24.2			36.2			31.4		
	6	28.1			33.0			24.5			39.2			41.0		

○7月4半月の平均気温は、平年に比べて0.3°Cほど高く推移した。また、まとまった降雨もなく多照となった。

◀福岡管区気象台の1か月天気予報（7月15日発表）（予報期間 7月17日から8月16日まで）

向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすく、平年並か高いでしょう。

向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並ですが、気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期もある見込みです。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：7月20日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
夢しずく 6/12移植 武雄市橋町	本年値	77.1	341	10.1	40.0	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年より高く、茎数は平年より少ない。 ※7~9葉身長が著しく伸長している ※スクミリンゴガイによる食害の影響から茎数は少ない 主幹出葉数は平年より0.2葉少ない。 節間長25~30mm、幼穂長0.5mm ※生育ステージでは平年より2日程度早い 葉色は平年より淡い。 ※中干し7/15~7/21
	平年値	65.8	375	10.3	40.5	
	平年比	117	91	-0.2	-0.5	
さがびより 6/19移植 武雄市橋町	本年値	53.5	390	9.7	40.9	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年より高く、茎数は多い。 ※6~7葉身長が著しく伸長している 主幹出葉数は平年より0.2葉多い。 葉色は平年より淡い。
	平年値	46.6	363	9.5	42.2	
	平年比	115	108	+0.2	-1.3	

※夢しずくおよびさがびよりの平年値はH21~R2の平均値。 耕種概要は稲作情報第8号参照

3. 管内の生育状況（7月20日時点）

- 1) 七タコシヒカリ：現在、糊熟期～黄熟期である。
出穂盛期は6月28日～30日となり、積算温度による刈取り予想は7月30日～8月2日頃となる。
- 2) 夢しずく（普通期）：現在、穂首分化期～幼穂形成始期である。
7月に入り天気は一転して曇天傾向で推移しているため、草丈が伸長し深水管理の圃場では軟弱徒長ぎみの生育である。
- 3) ヒノヒカリ、さがびより：現在、分けつ盛期である。

4. 今後の管理

1) コシヒカリ

- ・「コシヒカリ」は、糊熟期～黄熟期を迎えている。なお、積算温度による刈取り積算目安表は別紙参照。
- ・水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行う。
ただし、玄米の品質低下を避けるため、土壌表面が白乾しないように、好天が続く場合は必ず走り水を行う。

2) 普通期水稻

①夢しずく

6月中旬に移植された「夢しずく」は、まもなく幼穂形成始期を迎え穂肥施用時期となる。

穂肥の施用に際しては、下記の穂肥診断基準に基づいて適期適量施用する。

「夢しずく」は、幼穂が1～2mmになるまでは伸長が緩慢であるが、3mm以上になると急激に伸長する。穂肥施用時期が遅れないように注意する。

【夢しずくの穂肥診断基準】

草丈 cm 幼穂形成始期時	葉 色		穂肥施用時期			
	群 落	SPAD	出穂前	幼穂長	穂肥施用量 (N成分:kg/10a)	
7.3 cm 以下	淡い	3.0 以下	34 以下	20～22 日	1mm	2.0kg/10a
	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.5kg/10a
	濃い	3.8 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
7.3 cm ～ 7.9 cm	標準	3.0～3.5	34～38	18～20 日	2mm	1.0kg/10a
	濃い	3.6 以上	39 以上	穂肥は施用しない		
8.0 cm 以上	穂肥は施用しない					

②ヒノヒカリ、さがびより

- ・まもなく中干し作業の時期をむかえる。
なお、中干し作業に移行する際の草丈の目安は、「ヒノヒカリ」及び「さがびより」は40～50cmの間である。
中干し期間は5～7日天候や土壌の種類、漏水の程度などによって変わるが、圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらい。



- ・中干し作業の効果と時期や程度については「稲作情報第9号」参照。

中干し（黒乾状態）

土壌表面に小さなヒビが入るくらい
また、歩いて足跡が軽くつくが、抵抗なく歩ける硬さ。
写真は、情報田（さがびより）圃場を撮影。



3) 病害虫の発生状況

1) いもち病

- ・葉いもちの発生がみられる圃場では、穂ばらみ期の防除を徹底するとともに、発生が多いと予想される場合（上位3葉に葉いもち病の病斑を確認した時）には穂揃い期にも防除を行う。
薬剤の使用にあたっては、使用時期や回数等の農薬の登録情報に注意する。
- ・圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」や「ごま葉枯病」の温床になるため、すみやかに除去する。
- ・葉色が濃い圃場で、葉いもち病の病斑を確認している。
- ・窒素過多は発生を助長するので、適切な肥培管理を行なう。
- ・BLASTAM 情報は別紙参照。

BLASTAM（ブラスタム）は、いもち病菌の感染に適した条件が表れたかを判定するモデルである。

ブラスタムで好適条件が現れた場合、約1週間後からいもち病の初発あるいは病斑数が急激に増加することが予測されるので注意する。



葉いもち病の病斑
葉色が濃い圃場にて確認

BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況

佐賀県農業技術防除センターHPより

7月

	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
白石	-	-	3	-	-	-	-	-	-
伊万里	-	-	-	-	-	-	2	3	-

- 1: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は20℃未満）
 - 2: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は25℃以上）
 - 3: 準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温は15～25℃の範囲外）
 - 4: 準好適条件（湿潤時間は湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い）
- : 好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した）
 - : 好適条件の出現なし
 - ?: 判定不能

2) ウンカ類

- ・セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガの誘殺状況については別紙参照。
また、最新データは、佐賀県農業技術防除センター及び長崎県病害虫防除所HPを参照する。
- ・今後の飛来状況や圃場の発生状況（移植時期や品種、箱施用剤の種類、施用の有無、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量や増殖率が異なるため、圃場での発生状況に注意する。

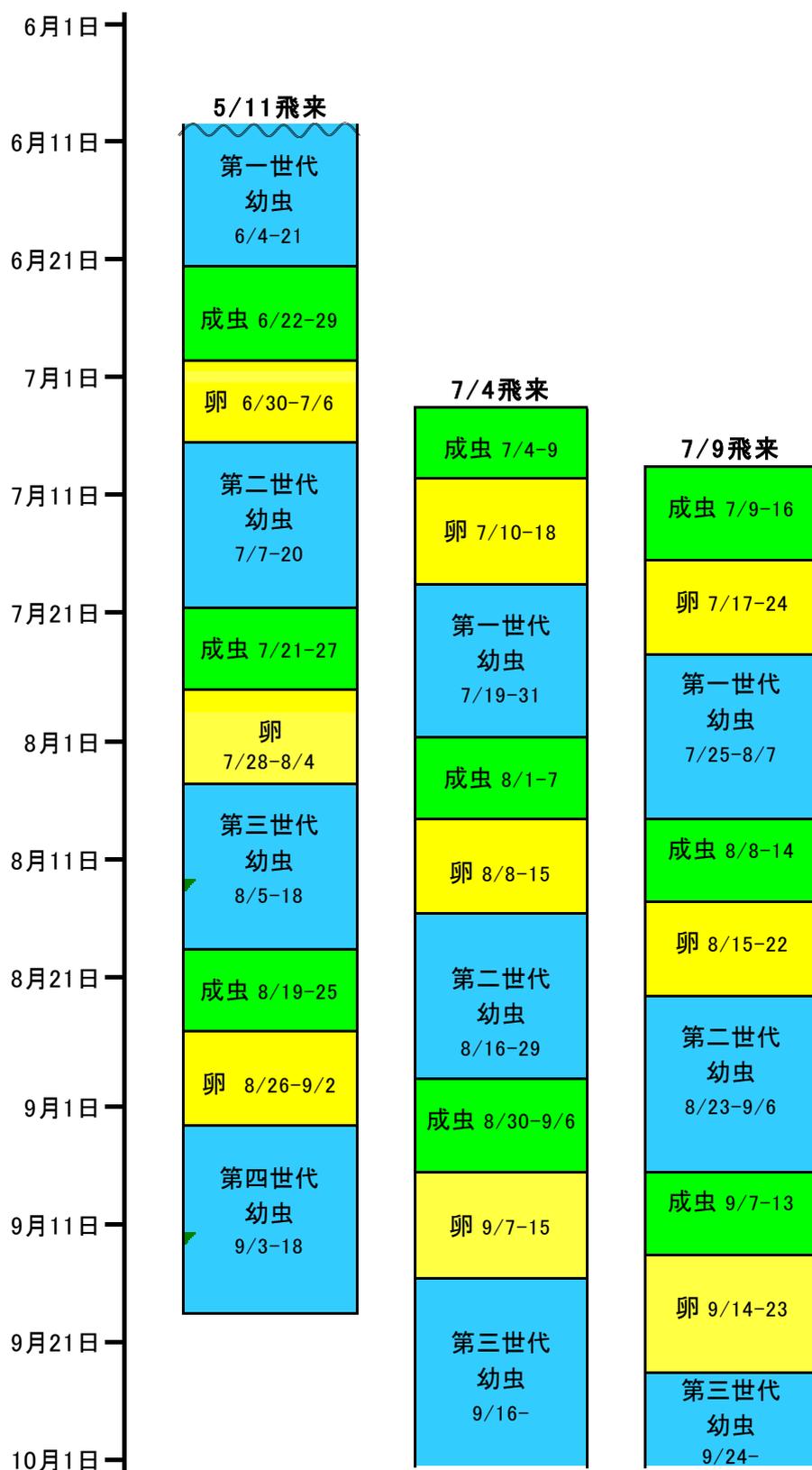


図1 トビイロウンカ各世代の発生予測 (第2版、2021年7月14日作成)

1. 5月11日頃、7月3～4日頃(図では7月4日)、7月8～12日頃(図では7月9日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月14日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

令和3年産

七夕「コシヒカリ」収穫期適期積算表（アメダス観測地，白石）

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会作物部会
杵島農業改良普及センター

令和3年7月21日現在

月	日	平均気温		出穂期（月/日）					
		平年	R3	6/24	6/26	6/28	6/30	7/2	7/4
6	24	24.0	24.1	出穂期					
	25	24.2	24.7	25					
	26	24.3	24.9	49.6	出穂期				
	27	24.4	25.7	75	26				
	28	24.6	25.4	101	51	出穂期			
	29	24.8	25.8	127	77	26			
7	30	24.9	26.5	153	103	52	出穂期		
	1	25.1	28.0	181	131	80	28		
	2	25.2	26.9	208	158	107	55	出穂期	
	3	25.4	25.5	233	184	133	80	26	
	4	25.5	28.5	262	212	161	109	54	出穂期
	5	25.7	28.3	290	241	190	137	82	28
	6	25.8	28.3	319	269	218	166	111	57
	7	25.9	28.5	347	297	246	194	139	85
	8	26.1	27.2	374	325	274	221	166	112
	9	26.2	27.0	401	352	301	248	193	139
	10	26.3	25.3	427	377	326	274	219	165
	11	26.5	26.2	453	403	352	300	245	191
	12	26.6	28.0	481	431	380	328	273	219
	13	26.7	28.4	509	460	408	356	301	247
	14	26.8	28.3	537	488	437	384	330	276
	15	26.9	26.8	564	515	464	411	356	302
	16	27.1	26.9	591	542	490	438	383	329
	17	27.2	25.6	617	567	516	464	409	355
	18	27.3	27.7	644	595	544	491	437	383
	19	27.4	28.5	673	623	572	520	465	411
	20	27.5	29.5	702	653	602	549	495	441
	21	27.6		730	680	629	577	522	468
	22	27.7		758	708	657	605	550	496
	23	27.7		785	736	685	632	578	524
	24	27.8		813	764	713	660	605	551
	25	27.9		841	792	740	688	633	579
	26	27.9		869	819	768	716	661	607
	27	28.0		897	847	796	744	689	635
	28	28.1		925	876	824	772	717	663
	29	28.1		953	904	853	800	745	691
	30	28.1		981	932	881	828	773	719
31	28.2		1,010	960	909	857	802	748	
8	1	28.2		1,038	988	937	885	830	776
	2	28.2		1,066	1,016	965	913	858	804
	3	28.3		1,094	1,045	994	941	886	832
	4	28.3		1,123	1,073	1,022	970	915	861
	5	28.3		1,151	1,101	1,050	998	943	889
	6	28.3		1,179	1,130	1,078	1,026	971	917
	7	28.3			1,158	1,107	1,054	1,000	946
	8	28.2				1,135	1,083	1,028	974
	9	28.2					1,111	1,056	1,002
	10	28.2						1,084	1,030
	11	28.1							1,058
	12	28.1							

◎ コシヒカリ収穫適期の目安

- 積算気温による目安
- 最低 850°C
- 最高 930°C

<収穫のポイント>

積算表はあくまで目安です。
気温が高く推移すれば予想より早まり、
気温が低く推移すれば予想より遅くなります。
圃場での熟れぐあいを確認したうえで、
収穫日を決定します。

早期落水は充実不足による「ヤセ米」や、
「屑米」、「死米」が発生しやすく、品質低下
の原因となりますので、必ず間断灌水を実
施して、根の活力維持に努めてください。

コンバイン収穫では、麦などの異種穀粒
や異物が混入しないように清掃点検を行
いましょう。

日中の高温条件での収穫となり、籾水分
も高いので、収穫後はできるだけ速やかに
通風・乾燥を行いましょ。一時堆積中の
籾の穀温が高くなり、熱く感じられるときは
ヤケ米発生となりやすく危険です。



<収穫適期の目安>

- ◎ 穂軸の先端(穂先)から1~2cmが枯れ、穂元の青籾が5~7粒残っている状態で、籾をツメで押してもつぶれなくなった時。
- ◎ 籾水分28%以下。

- ・収穫は、穀粒水分30%以下に低下してから始まります。籾水分27%~28%の頃が刈り取りの中心となり、**気温の高い早期作では水分の低下が早く、籾水分25%未満(積算気温で1,000度以上)になると、刈遅れによる品質低下が目立ってきます。**
- ・早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。
- ・遅刈りは、「胴割米」や「茶米」、「穂発芽粒」が発生しやすくなり、品質低下の原因となりますので刈遅れとならないように注意してください。活き青米は5~10%程度入っている方が玄米の光沢が良く、外観品質も良くなります。